

令和6年度介護支援専門員専門研修 ・ （専門研修課程 ・ ） 及び更新研修 ・ （実務経験者対象）実施要領

1 目 的

介護支援専門員専門研修

現任の介護支援専門員に対して、一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識、技能の修得を図ることにより、その専門性を高め、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを実践できる知識・技術を修得し、もって介護支援専門員の資質向上を図ることを目的とする。

介護支援専門員更新研修（実務経験者対象）

介護支援専門員証に有効期限が付され、更新時に研修の受講を課すことにより、定期的な研修受講の機会を確保し、介護支援専門員として必要な専門知識及び技術の向上を図ることにより、専門職としての能力の保持・向上を図ることを目的とする。

2 実 施 主 体 長崎県から指定を受けて、長崎県介護支援専門員協会が実施する。

3 対 象 者（「介護支援専門員の研修体系フロー図」参照）

介護支援専門員専門研修

専門研修課程

原則として、介護支援専門員としての**実務に従事している者**であって、就業後6か月以上の者とする。なお、介護支援専門員として効果的にその専門性を高めるためには早期に受講することが適当であって、就業後3年以内に受講することが望ましい。

専門研修課程

原則として、介護支援専門員としての**実務に従事している者**であって、専門研修課程を修了している就業後3年以上の者とする。

介護支援専門員更新研修（実務経験者対象）

研修対象者は、介護支援専門員証の有効期間中に、介護支援専門員として実務に従事している者又は従事していた経験を有する者（以下「実務経験者」という。）であって、介護支援専門員証の有効期間が令和8年3月31日までに満了する者とする。

なお、実施上の留意点等は下記のとおり。

実務経験者として初めて介護支援専門員証の更新をしようとする者であって、専門研修課程を受講済の者に対する更新研修は、専門研修課程と同内容であり、合計32時間とする。

実務経験者として初めて介護支援専門員証の更新をしようとする者（再研修受講後の更新は初めての扱いです。）または前回の更新で更新研修（実務未経験者）を受講した方で、専門研修 ・ とも未受講の者に対する更新研修は、専門研修課程 及び 専門研修課程と同内容であり、合計88時間とする。

実務経験者として介護支援専門員証の更新をしようとする者が2回目以降の者に対する更新研修は、専門研修課程と同内容であり、合計32時間とする。

4 研 修 内 容 下記カリキュラムのとおり

- ・ 「専門（更新）研修課程 カリキュラム」参照
- ・ 「専門（更新）研修課程 カリキュラム」参照
- ・ 「専門（更新）研修課程 カリキュラム」参照

5 日程・会場・定員 「研修日程・定員・会場」参照

研修会場ごとで異なりますのでご注意ください。

6 申し込み 「受講管理システム」(リンク先は日本介護支援専門員協会)から必要事項を登録のうえ申し込み願います。

連絡はすべてメールで行いますので、必ず連絡の取れるメールアドレスを受講管理システムに登録してください。

研修管理システム「研修申し込みの流れ」簡易版 参照

7 申込締切 令和6年4月26日(金)

8 教材 4訂介護支援専門員研修テキスト(必須)

品名	定価
4訂/専門研修課程	5,280円(税込み・送料別)
4訂/専門研修課程	4,400円(税込み・送料別)

別紙チラシをご参照の上、日本介護支援専門員協会ホームページから購入してください。

配送には10日ほどかかります。決定通知書が届き次第お早めにご注文ください。

研修開始までにテキストの準備が出来ていない場合、研修の受講が出来ませんのでご注意ください。

9 受講料

(1) 専門研修、更新研修 25,000円(22,728円 消費税2,272円)(教材代を除く)

(2) 専門研修、更新研修 19,000円(17,273円 消費税1,727円)(教材代を除く)

振込先は決定通知でご案内致します。

納入された受講費用は、原則として返還しません。

10 受講決定 先着順に受付しますが、有効期間満了日の近い方等を考慮のうえ受講者を決定しますことを、予めご了承ください。

受講決定後の会場変更は原則受け付けませんのでご了承ください。

5月中旬頃までに、受講の可否をお知らせする予定です。

11 提出課題等 課程 担当ケース1人分の(過去に担当された事例も可)

居宅施設サービス計画書(第1~3表)、介護予防計画書 いずれか一つ

アセスメントシート、利用者基本情報、基本チェックリストいずれか一つ

の提出が必要です。提出方法は、受講決定後に案内します。

課程 受講決定後に案内します。

- 1 3 そ の 他 介護支援専門員の法定研修受講における時間的負担を軽減することを目的に、法定研修の一部について、オンデマンド配信による動画視聴で実施します。また、法定研修の一部をオンライン研修で実施します。詳細につきましては、受講決定時にお知らせします。

研修受講前、受講後アンケート（研修記録シート）に代わり、修了評価（テスト）を実施します。詳細につきましては、受講決定時にお知らせします。

研修において遅刻、早退、欠席がある場合は、修了証明書を発行できず介護支援専門員証を更新する事が出来なくなることがありますのでご注意ください。また、感染症に罹患するなど、研修が受講できず、資格の更新ができない場合は、事前にご相談ください。

1 4 問い合わせ

一般社団法人 長崎県介護支援専門員協会

研修専用 095 - 894 - 5500 （平日 午前9時～午後5時）

T E L 095 - 893 - 6152 （平日 午前9時～午後5時）

F A X 095 - 893 - 6153

研修日程・定員・会場

研修日程・定員・会場

専門研修 課程

更新研修 課程

総時間 56 時間

(オンライン研修 4 日間 動画視聴 33 時間)

定員 110 名

動画視聴期間	1 日目	2 日目	動画視聴期間	3 日目	4 日目
6/5 ~ 7/5	7/12 (金)	7/13 (土)	7/16 ~ 8/16	8/22 (木)	8/23 (金)

会場

Zoom を使用し、Web 形式で行います。

- ・録画配信ではなく、リアルタイムで講義演習を行います。
- ・推奨する環境、ルールなどについては別紙「介護支援専門員研修オンライン研修受講にあたっての注意事項」をご参照ください。
- ・受講環境に不安がある方につきましては、当協会へご相談ください。

動画視聴期間については、『介護支援専門員専門研修（専門研修課程）及び更新研修（実務経験者対象）受講の流れ』をご確認ください。

専門研修 課程

更新研修 課程

総時間 32 時間

(オンライン研修 3 日間 動画視聴 17 時間)

コース	定員	動画視聴期間	1 日目	動画視聴期間	2 日目	動画視聴期間	3 日目
A	150 名	6/11 ~ 7/11	7/18 (木)	6/18 ~ 7/18	7/25 (木)	7/3 ~ 8/3	8/10 (土)
B	150 名	7/16 ~ 8/16	8/21 (水)	8/5 ~ 9/5	9/12 (木)	8/14 ~ 9/14	9/21 (土)
C	150 名	10/5 ~ 11/5	11/16 (土)	10/14 ~ 11/14	11/21 (木)	11/5 ~ 12/5	12/12 (木)

会場

Zoom を使用し、Web 形式で行います。

- ・録画配信ではなく、リアルタイムで講義演習を行います。
- ・推奨する環境、ルールなどについては別紙「介護支援専門員研修オンライン研修受講にあたっての注意事項」をご参照ください。
- ・受講環境に不安がある方につきましては、当協会へご相談ください。

動画視聴期間については、『介護支援専門員専門研修（専門研修課程）及び更新研修（実務経験者対象）受講の流れ』をご確認ください。

A コースは、介護支援専門員証有効満了日が令和 8 年 3 月 31 日までの方を優先させていただきます。満了日が令和 8 年 3 月 31 日までの方につきましては、早期開催研修会場を選択頂きます様お願いいたします。

募集の結果、受講予定者数を大幅に下回る場合は、一部コースを開催しないことがあります。

介護支援専門員研修オンライン研修受講にあたっての注意事項

受講前には必ず以下の環境を確保してください。本研修においては Zoom(Web 会議ツール)を使用します。

1. 利用環境

(1) インターネット接続環境

- この研修では、通信量が大きいため、事業所もしくは個人の責任において安定したインターネット回線をご利用ください。有線 LAN での受講を推奨します。Wi-Fi を使用する場合は、Wi-Fi 環境が良い所でのご参加をお願いいたします。モバイル Wi-Fi ルータなどを利用した場合、通信量オーバーにより速度制限がかかると接続が切断されてしまう場合がありますので、充分ご注意ください。
- インターネット等の通信料等受講にかかる費用は受講者の負担になります。
データ使用量が大きいため、ご利用の通信料金や契約内容を受講前にご確認ください。
- 受講に関する連絡はメールで行いますので、必ず連絡の取れるメールアドレスをご準備ください。
- パソコンや Zoom の設定、操作方法、インターネット環境や機器の準備は受講者様ご自身でお願いします。操作方法等に関するお問合せはお受けできません。

(2) Zoom

- オンライン形式の研修は「Zoom」を使用して実施いたしますので、事前に Zoom アプリケーションのダウンロードをお願いします。(すでにダウンロードをされているパソコンの場合は不要です。)
Zoom アプリケーションダウンロード URL: https://zoom.us/download#client_4meeting
- ご自身で Zoom に接続できるか、また、カメラ・音声などの確認をしておいてください。
Zoom 接続テスト URL <https://zoom.us/test>
- Zoom ソフトインストールや使用は無料ですが、利用するモバイル通信の契約内容によっては別途通信料がかかる場合がありますので注意してください。
- 研修開催前に、接続テストを実施いたします。(必須)接続テストへの参加が確認できなかった場合、オンライン研修をお断りすることがあります。

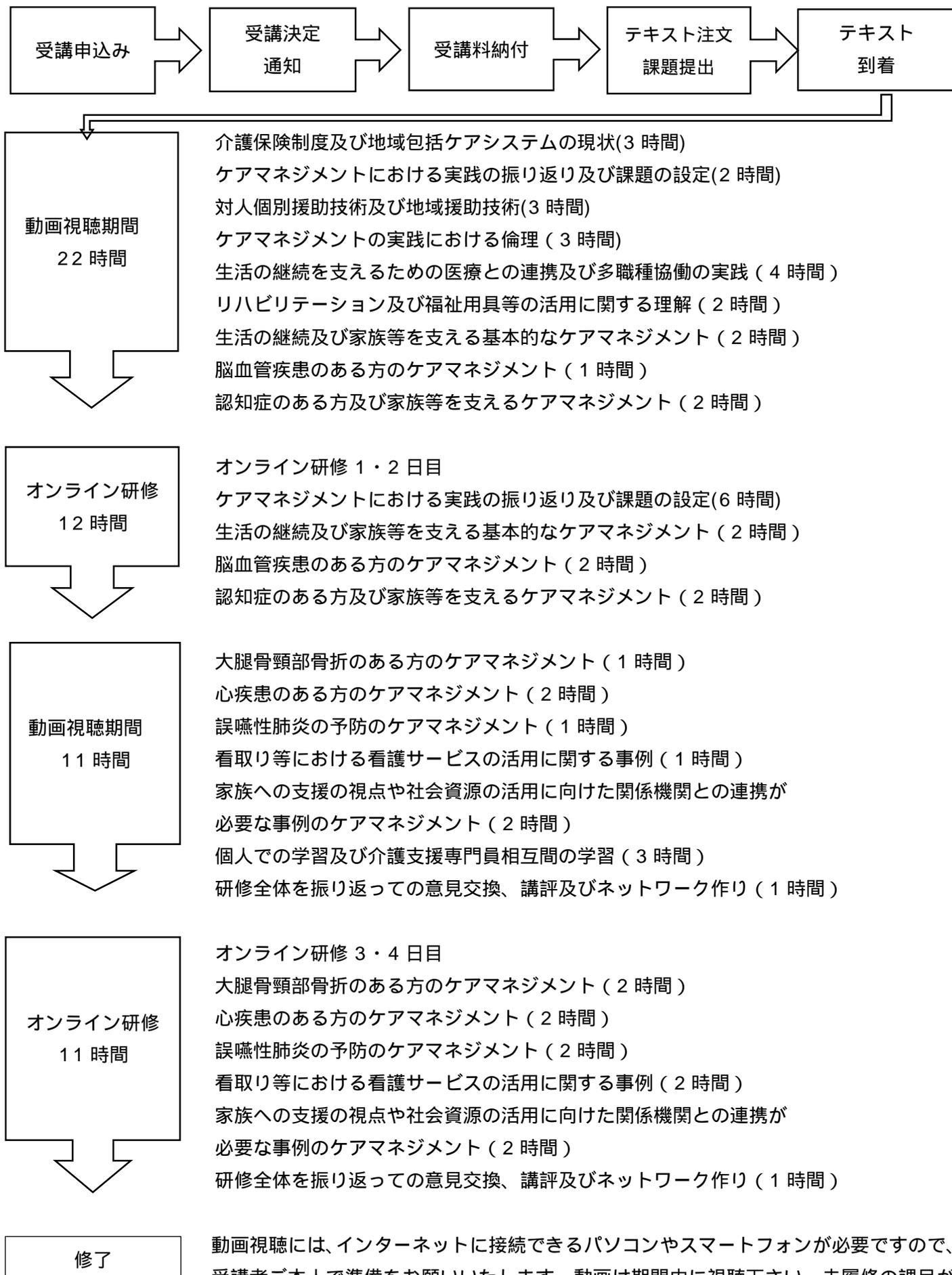
(3) その他

- なるべく静かな環境での受講をお願いいたします。(発言するときに周囲の人の声や物音などが相手に届きます。発言時以外はマイクをミュートにしてください。)
- 受講する際は、背景に個人情報が映らないように注意してください。
- 研修で使用する演習シートは、ホームページに掲載しますので、期間内に各自でダウンロードをお願いします。掲載日については受講決定後にお知らせいたします。

2. 機器の準備

- 研修受講にあたっては、インターネット環境、パソコンもしくはタブレットを各自ご準備ください。長時間の講義や演習であり、接続が切れやすいこと等から、スマートフォンでの受講はできません。
- パソコンにカメラが内蔵されていない場合は、外付けのカメラをご準備ください。出席の確認をするため、休憩以外はビデオ表示(顔を映す)にしてください。
- マイクをご準備ください。パソコンに内蔵されているマイクの使用も可能ですが、周囲の雑音などを軽減するため、イヤホン・ヘッドセット等を推奨します。
- 必ず 1 人 1 台のパソコンで受講してください。1 台のパソコンで同時に複数名の受講はできません。

介護支援専門員専門研修（専門研修課程）及び更新研修（実務経験者対象）受講の流れ
56時間（オンライン研修 23時間・動画視聴 33時間）



介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状(3時間)
ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定(2時間)
対人個別援助技術及び地域援助技術(3時間)
ケアマネジメントの実践における倫理(3時間)
生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実践(4時間)
リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解(2時間)
生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント(2時間)
脳血管疾患のある方のケアマネジメント(1時間)
認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント(2時間)

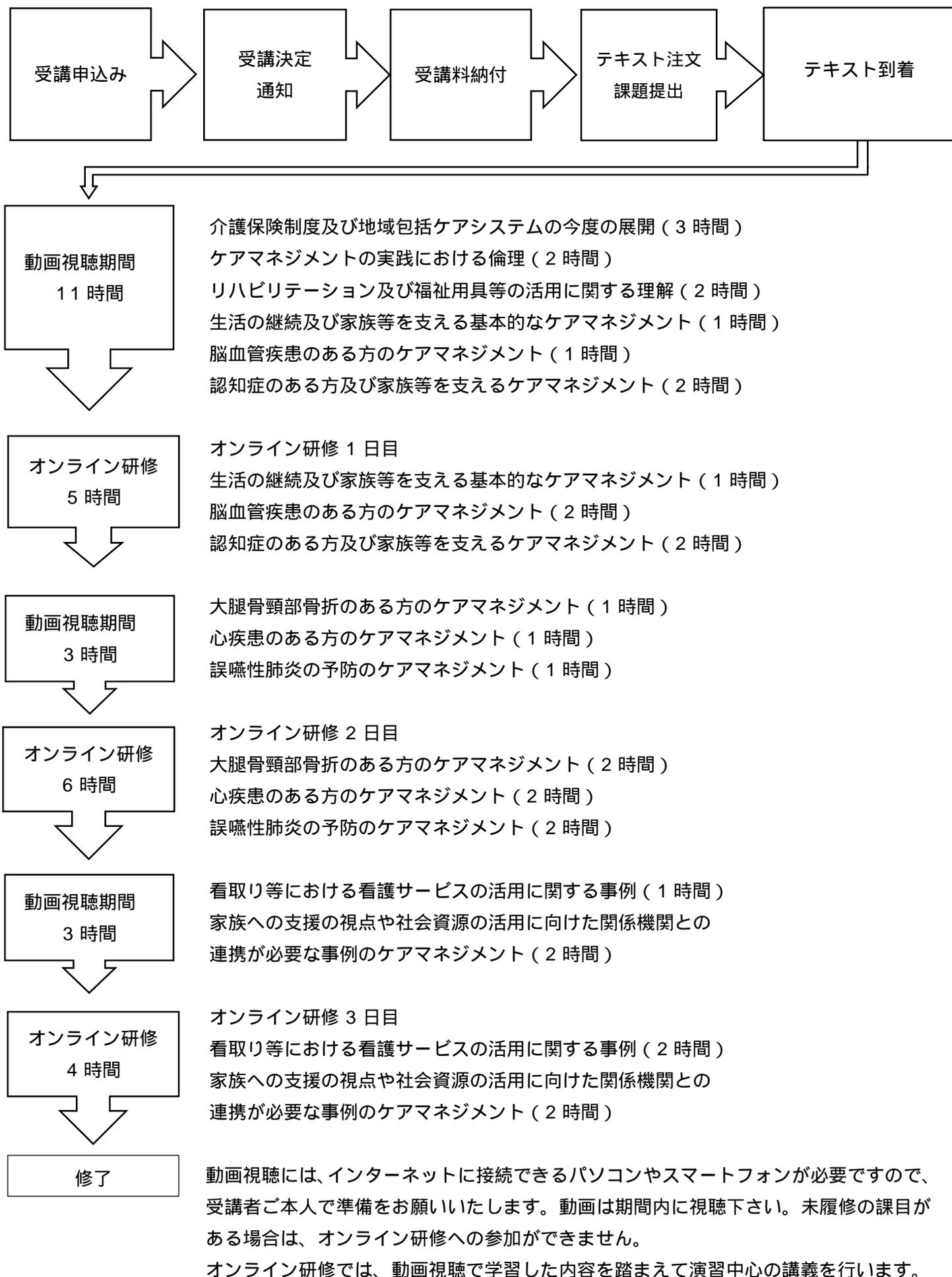
オンライン研修 1・2日目
ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定(6時間)
生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント(2時間)
脳血管疾患のある方のケアマネジメント(2時間)
認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント(2時間)

大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント(1時間)
心疾患のある方のケアマネジメント(2時間)
誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント(1時間)
看取り等における看護サービスの活用に関する事例(1時間)
家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント(2時間)
個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習(3時間)
研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り(1時間)

オンライン研修 3・4日目
大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント(2時間)
心疾患のある方のケアマネジメント(2時間)
誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント(2時間)
看取り等における看護サービスの活用に関する事例(2時間)
家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント(2時間)
研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り(1時間)

動画視聴には、インターネットに接続できるパソコンやスマートフォンが必要です。受講者ご本人で準備をお願いいたします。動画は期間内に視聴下さい。未履修の課目がある場合は、オンライン研修への参加ができません。オンライン研修では、動画視聴で学習した内容を踏まえて演習中心の講義を行います。

介護支援専門員専門研修（専門研修課程）及び更新研修（実務経験者対象）受講の流れ
 32時間（オンライン研修 15時間・動画視聴 17時間）



令和6年度介護支援専門員研修専門（更新）研修課程 カリキュラム

科目	目的	内容	時間数
<p>ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定</p>	<p>介護支援専門員としての実践の振り返りを通じて、ケアマネジメントプロセスを再確認した上で、専門職としての自らの課題を理解する。 また、ケアマネジメントプロセスに関する最新の知見を確認し、実践のあり方の見直しを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の実践を省みる事により、ケアマネジメントプロセスにおける各項目の持つ意味と重要性に関して再確認し課題等を認識するための講義を行う。 ・専門職としての知識・技術を高めていく上での克服すべき課題等を認識する講義を行う。 ・振り返りに当たっては、担当事例を活用することとし、担当事例におけるケアマネジメントの視点（アセスメントの結果から課題（ニーズ）を導き出すまでの考え方、当該課題（ニーズ）に対するサービスの選定理由等）を発表し、他の受講者との意見交換を通じて、自分自身の技量における課題を認識・理解する。 ・質の評価やデータ活用を行いながら、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスの提供に向けた現状の取組及び課題についての講義を行う。 	<p>講義及び演習 8時間</p> <p>動画視聴 2時間 オンライン研修 6時間</p>
<p>介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状</p>	<p>介護保険制度の最新の動向、地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現に向けた現状の取組を理解した上で、今後の地域包括ケアシステムの展開における介護支援専門員としての関わりを理解する。また、地域包括ケアシステムの中で、利用者及びその家族を支援していくに当たって、関連する制度等を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の改正等の状況、地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現に向けた現状の取組及び課題に関する講義を行う。 ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護支援専門員が果たすべき役割に関する講義を行う。 ・利用者が、住み慣れた地域で自立した生活を継続するためには、利用者だけでなくその家族を支援するという視点も必要であることから、ヤングケアラーや仕事と介護の両立支援等利用者の家族も含めた支援に関連する各種制度や社会資源、介護支援専門員に求められる役割に関する講義を行う。 ・フォーマルだけでなくインフォーマルな社会資源との連携やそれらの活用と働きかけに関する講義を行う。 	<p>講義3時間</p> <p>動画視聴 3時間 オンライン研修 無し</p>
<p>対人個別援助技術（ソーシャルケースワーク）及び地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）</p>	<p>対人個別援助技術（ソーシャルケースワーク）と地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）の違いと役割を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対人個別援助技術（ソーシャルケースワーク）の考え方と地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）の概念・機能・目的に関する講義を行う。 ・対人個別援助技術（ソーシャルケースワーク）に必要な知識・技術及び地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）の展開技法についての講義を行う。 ・個別事例の支援から地域課題の把握、課題の共有、課題解決に向けた地域づくりや資源開発などに至る一連のプロセスに関する講義を行う。 ・実際に取り組む場である地域ケア会議の意義や機能及び一連のプロセスの中における介護支援専門員としての役割に関する講義を行う。 ・個別事例の支援や地域課題の把握から解決に向け、保険者を含む多職種連携の意義やネットワーク作りの視点と方法に関する講義を行う。 	<p>講義3時間</p> <p>動画視聴 3時間 オンライン研修 無し</p>

科目	目的	内容	時間数
<p>生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実践</p>	<p>実践を通じて感じた医療との連携や多職種協働に関する課題を踏まえ、今後の実践に向けて必要な知識・技術を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジメントを実践する上で必要な疾病や医療との連携、多職種協働の必要性・重要性を再確認するための講義を行う。 ・これまでの実践を省みて課題を認識し、医療との連携や多職種協働を実践していくための課題解決の方法に関する講義を行う。 ・介護支援専門員から医療機関や多職種に情報を提供する際の留意点及び、医療機関や多職種から情報を収集する際の留意点についての講義を行う。 ・サービス担当者会議や地域ケア会議における多職種との効果的な協働の手法に関する講義を行う。 	<p>講義 4 時間</p> <p>動画視聴 4 時間 オンライン研修 無し</p>
<p>ケアマネジメントの演習 ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する理解</p>	<p>リハビリテーションや福祉用具等に関する基礎知識及び活用に関する基本的な視点を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション(口腔リハビリテーションを含む。)や福祉用具等に関する基礎知識の向上と活用に当たっての基本的な視点に関する講義を行う。 ・リハビリテーション専門職及び福祉用具専門相談員等との連携方法等に関する講義を行う。 	<p>講義及び演習 2 時間</p> <p>動画視聴 2 時間 オンライン研修 無し</p>
<p>○ケアマネジメントの演習 ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント</p>	<p>高齢者の生理、心理、生活環境などの構造的な理解を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジメントを実践する上で必要な高齢者の生理、高齢者やその家族の心理、住環境や同居者の有無などそれぞれの要素と要素の関係性の重要性に関する講義を行う。 ・「適切なケアマネジメント手法」の基本的な考え方及び疾患の有無に関わらず、高齢者の機能と生理に基づく在宅のケアマネジメントやその前提となる多職種との情報共有において必要な視点、想定される支援内容を整理した「基本ケア」について理解する。 ・それらの関係性を踏まえたアセスメント、課題分析の視点、居宅サービス計画等への具体的な展開方法など、支援に当たってのポイントを理解する。 	<p>講義及び演習 4 時間</p> <p>動画視聴 2 時間 オンライン研修 2 時間</p>
<p>ケアマネジメントの実践における倫理</p>	<p>ケアマネジメントを実践する上で感じた倫理的な課題や、認知症や終末期、身寄りのない高齢者など、意思決定支援の必要性を踏まえ、チームで対応していく際のチームアプローチの方法及び高齢者の権利を擁護する上で必要な制度等を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジメントを実践する上で介護支援専門員が備えるべき、利用者本位、自立支援、公正中立、人権の尊重、守秘義務、利用者のニーズの代弁等の倫理に関する講義を行う。 ・ケアマネジメントを実践する上で生じる具体的な倫理的課題に対する心構えや対応方法についての講義を行う。 ・認知症、身寄りのない高齢者、看取りのケース等における意思決定支援の必要性や意思決定に向けた支援プロセスに関する講義を行う。 ・倫理的な課題に対するチームアプローチの重要性を認識し、その手法に関する講義を行う。 ・成年後見制度や高齢者虐待防止法等、高齢者の尊厳や権利擁護に関する講義を行う。 	<p>講義 3 時間</p> <p>動画視聴 3 時間 オンライン研修 無し</p>

科目	目的	内容	時間数
<p>・脳血管疾患のある方のケアマネジメント</p>	<p>脳血管疾患の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・脳血管疾患の分類、症状、後遺症、生活障害の程度と身体機能の関係、廃用症候群との関係性についての講義を行う。 ・脳血管疾患における療養上の留意点や起こりやすい課題について理解する。 ・脳血管疾患に特有な検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（脳血管疾患がある方のケア）」について理解する。 ・脳血管疾患がある方のケアマネジメントに関する1つの事例について様々な状況等を勘案した、実践しうる複数の対応策（居宅サービス計画の作成）が検討できるよう、必要な知識・技術を修得する。 	<p>講義及び演習 3 時間</p> <p>動画視聴 1 時間</p> <p>オンライン研修 2 時間</p>
<p>・認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント</p>	<p>認知症の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症や精神疾患に関する医学的・心理的基礎知識の向上と認知症施策に関わる多職種との連携方法等に関する講義を行う。 ・認知症等の特質性を踏まえた早期の対応方法や家族も含めた支援方法などを修得するとともに、地域で生活を継続していくための支援を行う上で必要な視点を理解する。 ・認知症に特有な検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（認知症がある方のケア）」について理解する。 ・認知症がある方のケアマネジメントに関する1つの事例について様々な状況等を勘案した、実践しうる複数の対応策（居宅サービス計画の作成）が検討できるよう、必要な知識・技術を修得する。 	<p>講義及び演習 4 時間</p> <p>動画視聴 2 時間</p> <p>オンライン研修 2 時間</p>
<p>・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント</p>	<p>大腿骨頸部骨折の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大腿骨頸部骨折の原因、症状、生活をする上での障害及び予防方法に関する講義を行う。 ・その他の筋骨格系疾患の種類、原因、症状、生活をする上での障害及び予防改善方法や、廃用症候群の原因、生活をする上での障害及び予防改善方法に関する講義を行う。 ・大腿骨頸部骨折における療養上の留意点や起こりやすい課題について理解する。 ・大腿骨頸部骨折に特有な検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（大腿骨頸部骨折がある方のケア）」の内容を理解する。 ・大腿骨頸部骨折がある方のケアマネジメントに関する1つの事例について様々な状況等を勘案した、実践しうる複数の対応策（居宅サービス計画の作成）が検討できるよう、必要な知識・技術を修得する。 	<p>講義及び演習 3 時間</p> <p>動画視聴 1 時間</p> <p>オンライン研修 2 時間</p>

科目	目的	内容	時間数
<p>・心疾患のある方のケア マネジメント</p>	<p>心不全につながる心疾患の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・心疾患の種類、原因、症状、生活をする上での障害及び予防改善方法に関する講義を行う。 ・心疾患における療養上の留意点や起こりやすい課題について理解する。 ・心疾患に特有な検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（心疾患がある方のケア）」の内容を理解する。 ・心疾患を有する方のケアマネジメントに関する1つの事例について様々な状況等を勘案した、実践しうる複数の対応策（居宅サービス計画の作成）が検討できるよう、必要な知識・技術を修得する。 	<p>講義及び演習 4時間</p> <p>動画視聴 2時間 オンライン研修 2時間</p>
<p>・誤嚥性肺炎の予防のケア マネジメント</p>	<p>誤嚥性肺炎の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誤嚥性肺炎の特徴や誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメントにおける留意点や起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントに関する講義を行う。 ・誤嚥性肺炎の予防における「適切なケアマネジメント手法」の「基本ケア」の重要性を再確認する講義を行う。 ・誤嚥性肺炎の予防における検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（誤嚥性肺炎の予防のためのケア）」の内容を理解する。 ・誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメントに関する1つの事例について様々な状況等を勘案した、実践しうる複数の対応策（居宅サービス計画の作成）が検討できるよう、必要な知識・技術を修得する。 	<p>講義及び演習 3時間</p> <p>動画視聴 1時間 オンライン研修 2時間</p>
<p>・看取り等における 看護サービスの活用 に関する事例</p>	<p>看護サービスの活用が必要な事例を用いて講義・演習を行うことにより、看護サービスの活用に係る知識及びケアマネジメント手法を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看護サービスに関する基礎知識の向上と活用に応じた基本的な視点に関する講義を行う。 ・訪問看護計画との関連付けや看護職との連携方法等に関する講義を行う。 ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例を用いて、適切なアセスメントを行う際の重要なポイントや地域の社会資源を活用したケアマネジメントを実践する知識・技術を修得する。 ・1つの事例について様々な状況等を勘案した、実践しうる複数の対応策（居宅サービス計画の作成）が検討できるよう、必要な知識・技術を修得する。 	<p>講義及び演習 3時間</p> <p>動画視聴 1時間 オンライン研修 2時間</p>

科目	目的	内容	時間数
家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例の特徴、関連する施策の内容や動向、対応する際の留意点等を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。	<ul style="list-style-type: none"> 単なるレスパイトだけでなく今後の介護に対する不安や利用者、家族同士の軋轢への介入など家族支援における基本的な視点に関する講義を行う。 他法他制度（難病施策、高齢者虐待防止関連施策、障害者施策、生活困窮者施策、仕事と介護の両立支援施策、ヤングケアラー支援関連施策、重層的支援体制整備事業関連施策等）の知識やインフォーマルサービスの活用に係る視点が必要な事例の特徴、対応する際の留意点について理解する。 関連する他法他制度の内容や動向に関する講義を行う。 他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメントを行う際の社会資源の活用に向けた関係機関や多職種との連携、相互理解の必要性、状態に応じた多様なサービスの活用方法について理解する。 他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメントに関する1つの事例について様々な状況等を勘案した、実践しうる複数の対応策（居宅サービス計画の作成）が検討できるよう、必要な知識・技術を修得する。 	講義及び演習 4時間 動画視聴 2時間 オンライン研修 2時間
個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習	指導・支援コーチング、スーパービジョン等の違いを踏まえ、自らがそれらを受け取る際の心構えや、法定研修終了後も法定外研修やOJT等を通じて、専門職として不断に自己研鑽を行うことの重要性を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 個人で専門性を高めていく際に必要な視点、手法に関する講義を行う。 指導支援、コーチング、スーパービジョン等の基本的な考え方、内容、方法を理解するとともに、これらを受け取る側と行う側双方に求められる姿勢に関する講義を行う。 個人で研鑽する場合と介護支援専門員相互間で研鑽する場合に求められる内容や手法とその関係性についての講義を行う。 専門職として継続した自己研鑽を行うことの必要性重要性について講義を行う。 研修において獲得した知識・技術について、更なる実践力を身につけるため、法定外研修やOJT等を活用した、具体的な自己研鑽の実施方法、地域における学びの場や機会の状況等についての講義を行う。 	講義 3時間 動画視聴 3時間 オンライン研修 無し
研修全体を振り返った意見交換、講評及びネットワーク作り	研修全体を通じた振り返りを行うことで、今後の学習課題を認識し、自己研鑽の意欲を高める。 また、研修受講者間でのネットワークの構築を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 研修全体の振り返りを行うに当たって、グループ又は全体で意見交換を行い、専門的助言を含めて、研修における学習の成果や今後の学習課題への意識付けのための講評を行う。 現場で生じうる課題への対応や共同で研修する機会を作るため、研修受講者間においてネットワークの構築を図る。 	講義及び演習 2時間 動画視聴 1時間 オンライン研修 1時間

令和6年度介護支援専門員研修専門（更新）研修課程 カリキュラム

科 目	目的	内容	時間数
介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	介護保険制度の最新の動向、地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現に向けた現状の取組を理解した上で、今後の地域包括ケアシステムの展開における介護支援専門員としての関わりを理解する。また、地域包括ケアシステムの中で、利用者及びその家族を支援していくに当たって、関連する制度等を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度の改正等の最新状況、地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現に向けた現状の取組及び課題についての講義を行う。 地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護支援専門員が果たすべき役割に関する講義を行う。 利用者やその家族を支援する上で関連する最新の制度、動向及び社会資源に関する講義を行う。 介護保険制度や介護支援専門員を取り巻く状況など現状で課題となっている事項に関する講義を行う。 	講義 3 時間 動画視聴 3 時間 オンライン研修 無し
ケアマネジメントの実践における倫理	高齢者の権利を擁護する上で必要な制度等に関する動向を確認するとともに、ケアマネジメントを実践する上で感じた倫理的な課題の振り返りを行い、実践のあり方の見直しを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 介護支援専門員が備えるべき、利用者本位、自立支援、公正中立、人権の尊重、守秘義務、利用者のニーズの代弁等の倫理に関する講義を行う。 高齢者の権利擁護や意思決定支援（認知症、身寄りのない高齢者、看取りのケース等）に関する制度等に関する講義を行う。 倫理的な視点を含めたケアマネジメントの実践のあり方についての講義を行う。 	講義 2 時間 動画視聴 2 時間 オンライン研修 無し
リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	リハビリテーションや福祉用具等を活用するに当たっての知識や関連職種との連携方法、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントについて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーションや福祉用具等を活用するに当たって重要となる関連知識や歯科医師、リハビリテーション専門職等との連携方法に関する講義を行う。 リハビリテーションや福祉用具等の活用を検討するに当たり、効果的なものとなるようインフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う。 	講義 2 時間 動画視聴 2 時間 オンライン研修 無し
ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	「適切なケアマネジメント手法」の「基本ケア」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。	<ul style="list-style-type: none"> 「適切なケアマネジメント手法」の基本的な考え方及び高齢者が有する疾患に係る想定される支援内容及び多職種との情報共有において必要な視点を整理した「基本ケア」について理解する。 インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う 各自が担当している事例（居宅サービス計画等）を持ち寄り、「基本ケア」の内容を踏まえた事例の分析、発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画等の作成における留意点を理解、再確認する。それらの留意点や必要に応じ根拠となる各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等にも広く対応することができる知識・技術を修得する。 	講義及び演習 2 時間 動画視聴 1 時間 オンライン研修 1 時間

科 目	目的	内容	時間数
<ul style="list-style-type: none"> 脳血管疾患のある方のケアマネジメント 	<p>脳血管疾患の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（脳血管疾患がある方のケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 脳血管疾患に特有な検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（脳血管疾患がある方のケア）」について理解する。 インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う 各自が担当している脳血管疾患がある方のケアマネジメントに関する事例（居宅サービス計画等）を持ち寄り、「疾患別ケア（脳血管疾患がある方のケア）」の内容を踏まえ、事例の分析、発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画等の作成における留意点を理解、再確認する。それらの留意点や必要に応じ根拠となる各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等にも広く対応することができる知識・技術を修得する。 	<p>講義及び演習 3 時間</p> <p>動画視聴 1 時間</p> <p>オンライン研修 2 時間</p>
<ul style="list-style-type: none"> 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント 	<p>認知症の特徴や療養上の留意点、起こりやすい課題の理解を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（認知症がある方のケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の要介護者等及び家族を支援するに当たり重要となる各種知識及び医療職をはじめとする多職種や地域住民との連携方法に関する講義を行う。 認知症に特有な検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（認知症がある方のケア）」の内容を理解する。 インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う 各自が担当している認知症等により生活障害がある方のケアマネジメントに関する事例（居宅サービス計画等）を持ち寄り、「疾患別ケア（認知症がある方のケア）」の内容を踏まえ、事例の分析、発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画等の作成における留意点を理解、再確認する。それらの留意点や必要に応じ根拠となる各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等にも広く対応することができる知識・技術を修得する。 	<p>講義及び演習 4 時間</p> <p>動画視聴 2 時間</p> <p>オンライン研修 2 時間</p>

科 目	目的	内容	時間数
<p>・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント</p>	<p>大腿骨頸部骨折の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（大腿骨頸部骨折がある方のケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大腿骨頸部骨折に特有な検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（大腿骨頸部骨折がある方のケア）」の内容を理解する。 ・インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う。 ・各自が担当している大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメントに関する事例（居宅サービス計画等）を持ち寄り、「疾患別ケア（大腿骨頸部骨折がある方のケア）」の内容を踏まえ、事例の分析、発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画等の作成における留意点を理解、再確認する。それらの留意点や必要に応じ根拠となる各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等にも広く対応することができる知識・技術を修得する。 	<p>講義及び演習 3 時間</p> <p>動画視聴 1 時間</p> <p>オンライン研修 2 時間</p>
<p>・心疾患のある方のケアマネジメント</p>	<p>心不全につながる心疾患の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（心疾患がある方のケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・心疾患に特有な検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（心疾患がある方のケア）」の内容を理解する。 ・インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う ・各自が担当している心疾患を有する方のケアマネジメントに関する事例（居宅サービス計画等）を持ち寄り、「疾患別ケア（心疾患がある方のケア）」の内容を踏まえ、事例の分析、発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画等の作成における留意点を理解、再確認する。それらの留意点や必要に応じ根拠となる各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等にも広く対応することができる知識・技術を修得する。 	<p>講義及び演習 3 時間</p> <p>動画視聴 1 時間</p> <p>オンライン研修 2 時間</p>

科 目	目的	内容	時間数
<p>・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント</p>	<p>誤嚥性肺炎の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（誤嚥性肺炎の予防のためのケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。</p>	<p>・誤嚥性肺炎の予防における「適切なケアマネジメント手法」の「基本ケア」の重要性を再確認する講義を行う。</p> <p>・誤嚥性肺炎の予防における検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（誤嚥性肺炎の予防のためのケア）」の内容を理解する。</p> <p>・インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う。</p> <p>・各自が担当している誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメントに関する事例（居宅サービス計画等）を持ち寄り、「疾患別ケア（誤嚥性肺炎の予防のためのケア）」の内容を踏まえ、事例の分析、発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画等の作成における留意点を理解、再確認する。それらの留意点や必要に応じ根拠となる各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等にも広く対応することができる知識・技術を修得する。</p>	<p>講義及び演習 3 時間</p> <p>動画視聴 1 時間</p> <p>オンライン研修 2 時間</p>
<p>・看取り等における看護サービスの活用に関する事例</p>	<p>看護サービスの活用が必要な事例を用いて講義・演習を行うことにより、看護サービスの活用に係る知識及び効果的なケアマネジメント手法を修得する。</p> <p>また、演習等で得られた看護サービスの活用に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を修得する。</p>	<p>・各自が担当している看護サービスを組み入れた居宅サービス計画等を持ち寄り、事例に関して分析した内容の発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画等の作成における留意点を理解、再確認する。それらの留意点や必要に応じ根拠となる各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等にも広く対応することができる知識・技術を修得する。</p> <p>・看取り等を含む看護サービスを活用するに当たって重要となる各種知識や医師、看護師等との連携方法に関する講義を行う。</p> <p>・看取り等を含む看護サービスを検討するに当たり、効果的なものとなるようインフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う。</p>	<p>講義及び演習 3 時間</p> <p>動画視聴 1 時間</p> <p>オンライン研修 2 時間</p>

科 目	目的	内容	時間数
<p>・家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント</p>	<p>家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例の特徴、関連する施策の内容や動向対応する際の留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。また、演習等で得られた家族への支援や他法他制度の活用に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を修得する。</p>	<p>・家族に対する支援に当たり重要となる各種知識や関係機関、地域住民をはじめとする多職種との連携方法に関する講義を行う。</p> <p>・他法他制度（難病施策、高齢者虐待防止関連施策、障害者施策、生活困窮者施策、仕事と介護の両立支援施策、ヤングケアラー支援関連施策、重層的支援体制整備事業関連施策等）の活用が必要な事例の特徴、対応する際の留意点に関する講義を行う。</p> <p>・関連する他法他制度の内容や動向に関する講義を行う。</p> <p>・インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う。</p> <p>・各自が担当している家族への支援の視点や他法他制度の活用が必要な事例（居宅サービス計画等）を持ち寄り、事例に関して分析した内容の発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画等の作成における留意点を理解、再確認する。それらの留意点や必要に応じ根拠となる各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等にも広く対応することができる知識・技術を修得する。</p>	<p>講義及び演習 4 時間</p> <p>動画視聴 2 時間</p> <p>オンライン研修 2 時間</p>